

平成17年



周防大島町議会議長 新山玄雄

新年明けましておめでとございます。

平成十七年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、わが周防大島にとりましては、四町が合併して新周防大島町が誕生した歴史的な年でした。

新しく町長含め四役も決まり、議会も二十六名の精鋭がそろいました。いよいよこれから町民の皆様の付託にこたえ、新しい町づくりを進める時であります。

今、周防大島を取り巻く情勢は大変厳しく、国も地方も大きな転換期にたっています。過疎化、少子・高齢化は引き続き進み、地域間の競争も激化していくでしょう。唾み合い、足をひっぱりあう時間はありません。今こそ、合併のメリットを生かし「元気・にこにこ・安心で、二十一世紀にはばたく先進の島」づくりに取り組んでいかねばなりません。

地方分権がさらに進んでいく時代の町づくりの基本は「住民参加」であります。政策を形成し、実現していく能力も求められます。それだけに首長、議員の役割と責任は重くなるでしょう。

瀬戸内海にいい島がある。そこに住む人たちは、生き生きとして、輝き、魅力的な人ばかりだ。是非その島に行ってみたい。といわれる島にしようではありませんか。

ともあれ新生周防大島町は、多くの課題をかかえています。少子・高齢化対策、産業の振興、福祉の充実、教育・文化の振興、若者定住、防災対策、交流と連携の強化、さらに合併にともない、いわゆる周辺地域が取り残されることのないように配慮も必要です。これらの課題を町民の皆様とともに一つ一つ取り組み、解決していくために、議会の機能と権能をフルに発揮して参りたいと存じます。

どうか、皆様の格別のご理解とご協力を切にお願い申し上げます次第であります。

本年が皆様にとって実り多いすばらしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。